

## 2017年度事業報告書

### 1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

#### 1)事業の推進 ( )は消費税抜き

##### ① 中田：6,440,996円(5,961,809円)：税込み目標額713万円、達成率90.3%

- ・今年度は「東北を応援しよう」と10万円の支援を目標に東北物産販売を行い、毎月大好評でした
- ・4～8月は目標に達しませんでした。9月は東北物産販売の効果により目標額を達成しました。また、4月、8月の半額セール以外は雑貨セールなどを行っただけで、日々の衣類や雑貨の価格を見直し、売りに上げに繋がりました。
- ・7月初めてアジアフェアに取り組みました。店内にディスプレイし、A看板を使ってアピールした結果、売上向上となり呼び水としての効果がありました。
- ・日本チャリティーショップ・ネットワークの「第1回チャリティーショップ・アワード」のディスプレイ部門でグランプリを受賞し、大きな励みになります。
- ・葛野小学校での平和講座から、2月は店内に「葛野小学校コーナー」を作り、6年の児童が寄付品を販売しました。売上は熊本とイラクに支援しました。この活動は多くの人たちからも共感を得ました。

#### <ショップ見学>

今年度もWE21こうほくの大倉山店(7人)、他団体からの見学がありました。

##### ② 領家：5,068,299円(4,692,881円)：税込み目標額550万円、達成率92.2%

- ・常に整理整頓を行い、買い物し易い店づくりを心がけました。その結果新しい顧客、特に若い世代の来店が増えました。
- ・春、夏、冬の定期的なセールを中心に、季節ごとに部分的なセールを行い、提供品を効率よく循環させて目標額達成に努力しました。
- ・通年、着物をボディに着せるところ興味のある方が多くいて売りに上げに繋がりました。
- ・ボランティアさんの手作りを置いたところ好評でした。今後、リメイクコーナーを模索していきたいと思います。
- ・ホームページで常に新しい情報を提供しました。またA看板で日々のショップ内の様子も発信しました。
- ・一年を通して目標に達しない日が多くありましたが、チャリティーショップとして顧客に理解され、励まされることに来年度への勇気をもらいました。

③ 萩丸：5,088,851円（4,711,913円）：税込み目標額 546万円、達成率 93.2%

・目標額に達しない月が多く、セール回数が多くなりました。セールが中心の経営からの脱却という問題点は引き続き残りました。

・ボランティアの転居が相次ぐ中、今年もボランティアがボランティアを誘うという横のつながりができました。

・今年度の着物フェアは3日間から5日間に延ばしました。チラシも8000枚配布しました。

・アクセサリーを見やすくしたので、関心を持つお客が増えました。アクセサリーフェアを開催して好結果を得ました。

・「陽だまり」の有効利用を進めました。お茶会、健康マージャン、生活クラブに加え、新たに整体が利用するようになりました。使用料は寄付として支援につなげました。

・就労支援の受け入れをしました（6/23～11/29）。

・広いスペースを利用したイベントは、参加者との交流を図る機会になりました。

\*12/15 しめ縄作り

\*1/5 初売りの餅つき

\*1/24 エコたわし作り

\*2/2 いわき織姫隊による糸繰り体験

\*2/14 バレンタインデーのチョコレートフォンデュ～チョコ募金につながりました。

\*3月～毎週水曜日 綿繰作業

## 2) ボランティアミーティングの開催

### ①中田店

3回開催し、月次報告とイベント開催を共有しました。また、チャリティーショップアワードのディスプレイ部門グランプリを報告し、来店する方々に感謝の意味を込めて賞状をディスプレイして飾りました。

\*6/21 ナカノ、エコものセンター日帰りバスツアーのお知らせ

藤野電力ワークショップ開催のお誘い(参加11人)

\*11/27 いわきツアー報告、油田ツアーのお知らせ、お誘い(参加10人)

\*3/26 チャリティーショップ・アワードのディスプレイ部門グランプリ報告

20周年記念事業、3.11 福島メモリアルライトアップ 2018in 久之浜 ツアー報告

葛野小コーナー販売終了(3/5迄)お礼状と売上報告 熊本 20,000円 イラク 17,000円

(参加11人)

### ②領家店

全体のミーティングではなく、個別ミーティングになりました。コミュニケーションを大事にしてシフト等もスムーズに行うことができ、良い雰囲気での運営ができました。

・6/26～30：総会後最初のミーティングを行い、目標、イベント等を全員で共有。

・7/24～28：今年度は店舗の更新にあたるためセールに力を入れることの再確認。

- ・9/4～8：ボランティアとしての心構えを全員で再確認。
- ・12/27：いわきツアーと油田見学の報告。
- ・3月：今年度の報告。

### ③萩丸店

3回行いました。また、・チラシまきを共有した結果、活動への理解が進みました。

- ・7/28 ナカノ、エコものセンター視察報告（参加9人）
- ・12/28 いわきツアー、油田ツアーの報告（参加8人）
- ・3/30 年度末の報告及び20周年記念事業の説明

【期間】 通年

【場所】 泉区内のWEショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 16,598,146円（税抜き 15,025,487円）

税込み目標額 18,090,000円、達成率 91.8%

## 2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

1) 緊急支援としてジュマネットからミャンマーのロヒンギャ先住民族迫害の支援要請があり、人道的支援と捉えて支援をしました。

その他通常支援については、申請書を基にヒアリングなどを行い、理事会で討議決定しました。

【期間】 通年

【場所】 泉区内のWEショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 カンボジア、バングラデシュ、日本などの社会的に立場の弱い女性や子どもたち

【事業高】 1,142,213円

## 3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

### 1) キャンペーンの実施

#### ① 貧困なくそうキャンペーン。（10月）

今年度も国内の貧困をテーマにして、DV被害者の自立を支援しているNPO法人「共同の家プラン」を支援先に決定しました。プランとコラボしてチラシを作成し、地域に配布し、当日はクイズなどをして参加者にエコ手袋を配布しました。（クイズ参加者 75人）

【期間】 10月1日～10月31日

【場所】 泉区内のWEショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 147,579 円

②愛のチョコ募金キャンペーン（放射能などを含めた核と子どもの影響について知る）

今年度もチョコ募金に取り組み、150 個を寄付に結びました。

【期間】 12 月～1 月

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 82,500 円

③東日本震災キャンペーン（3 月）

各ショップでチラシ配布とパネルを展示しました。また支援先は昨年同様に福島の子どものためのリフレッシュ事業を推進している NPO 法人ふくしま支援・人と文化ネットワークに決定しました。9 日は寄付の為に足を運んでくれる客も目立ち、キャンペーンも定着してきました。

【期間】 3 月 1 日～3 月 31 日

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 136,914 円

2) 共育事業

(1) WE 講座の開催及び参加

支援先の情報を共有するための講座の開催、また、他地域開催の講座に参加しました。

- \* 4/14 「ロヒンギャの現状」 ジュマネット下澤代表
- \* 10/5 「ロヒンギャ難民の現状」 ジュマネット下澤代表 5 人
- \* 11/17 カンボジアエンパワーメント事業報告会 2 人
- \* 12/10 武力によらない平和構築 1 人参加
- \* 1/16 おしどりマコ・ケントークライブ 4 人
- \* 1/25 WE21 こうほくカンボジアツアー報告会 2 人
- \* 1/27 日本チャリティーショップネットワークフォーラム 4 人

(2) 自然エネルギーのワークショップの開催

昨年度のエネルギーのシンポジウムを受けて、藤野電力による太陽光パネルのワークショップを開催し（参加者 20 人）、パネルを設置しました。外に設置したために地域に自然エネルギーのアピールをすることができ、現在、パネルのエネルギーは店内ラジオの電力に充てています。

### (3) スタディーツアーの開催

#### ①いわきツアー（11/13～14 12人参加）

被災地の現状を知る目的にいわき市を訪問し、オーガニックコットン摘みや糸織りのワークショップを体験し、また織姫の女性たちと交流を図ることができました。

その後、糸織りのワークショップの開催に繋がりました。

#### ②カンボジアツアー（1/20～1/25 1人参加）

カンボジアのJVCの支援先のモニタリングを兼ねて、他地域とツアーを企画、実施しました。一か所に滞在して支援内容を充分に見ることができ、JVCのスタッフとも顔の見える関係を築くことができました。

#### ③震災イベント支援ボランティアツアー（3/11～12 4人参加）

7年目を迎える3.11には、いわき市で行われるイベントに参加しました。いわきツアーから広がったツアーですが、新たなネットワークを築くことができました。

### (4) 国内ツアーの開催

#### ①ナカノ工場

バスを貸切り、3店舗のボランティアやスタッフとナカノ工場、エコものセンター、萩野店を見学し、参加者との共通認識を持つことが出来ました。（7/5実施 20人参加）

#### ②TOKYO 油田視察

家庭の廃油回収に取り組んで5年がたち、定着してきました。その油のリサイクルを学ぶために現地を訪問して、染谷代表の話を聞き家庭廃油から電力まで幅広いエネルギーについて理解を深めました。その後、ポンプ式石けんの販売に繋がりました。

【期間】 通年

【場所】 泉区内のWE ショップ中田店、よこはま県民サポートセンター、カンボジア、いわき市ほか。

【対象者】 主に地域住民

【事業高】 253,349円

### (5) 招聘事業

いわきツアーから発展して、糸織りのワークショップ実施のためにいわきから「織姫の会」の女性2人を招聘し、3店舗でワークショップを開催しました。

（参加者 中田：9人、領家：9人、萩丸：7人）

【期間】 2月1日～2日

【場所】 泉区内のWE ショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に地域住民

【事業高】 47,476円

(6) フェアトレード事業

ジンジャーティーや福島と気仙沼の物産を販売して、生産者の支援に繋がりました。

【期間】 通年

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 341,116 円

(7) ネットワークを広げて、問題解決を図りました。

①地域市民団体、企業との連携を図りました。

「トムトムの家」と連携して段ボール回収や「WE 油田」で家庭の廃油回収をしました。

②生活クラブ泉コモンズのイベントに参加しました。

10/28 のコモンズのまつりに出店し、アピールしました。

③ 葛野小学校 6 年生の平和教育講座に参加し、支援を通しての平和や自分たちでできることについて考える機会を持ちました。その後、中田店で「葛野小学校コーナー」を作り、支援金を生み出しました。(9/13 2 人参加)

4. 事業の広報普及を図る事業

1) ショップちらしや広報紙を充実させ、発行しました。

・ 機関紙「1・2・3」を年 2 回発行しました。

・ 夏・冬のセールの統一ちらしを作成し、広く地域に配布しました。その結果が売上向上につながり、ちらしまきの重要性を確認しました。また、着物セールのちらしを外注しました。

2) HP を充実させました。

「ワーコレほっとリンク」と HP 制作及び管理の契約を結び、充実を図りました。常に情報を更新し、若いお客の関心を高めました。

【期間】 通年

【場所】 泉区内の WE ショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 193,022 円